関係者各位

コンパスナビ® 活動報告

2017年度

一般社団法人青少年自助自立支援機構
2018年6月

Copyright (C) 2012 Inter Art Committees. All Rights Reserved.

1.2017年度コンパスナビ運転免許取得制度

首都圏（関東一都六県）を対象に、運転免許取得の助成を行ないました。
〈対象児童〉
・児童養護施設
・自立援助ホーム
・養育家庭（里親）
・ファミリーホーム

〈内容〉
社会的養護下にある児童が合宿免許を利用する上で、公的に準備できる費用（25万円）を超える金額を、全額助成する。

〈仕組み〉
合宿免許くりっく×コンパスナビのホームページ上に、専用の申込みフォームを設定し、自分で好きなプランを申し込むことができる。
児童が申し込んだ合宿免許プランの費用のうち、25万円を超える金額をコンパスナビが負担する。

〈人数〉
児童養護施設　26名
里親　1名
ファミリーホーム　1名　　合計　28名

2.退所者に対する運転免許支援

就労支援を希望する、社会的養護下にいた若者に対して、運転免許証が必要な場合に運転免許取得の助成をおこないました。

〈内容〉
過去、社会的養護下にいた25歳以下の若者に対して、運転免許取得の支援を行ないました。

〈人数〉
合計　3名

3.コンパスナビ基金寄付実績

法人様、多数の個人の皆様からもご支援により、約556万円の寄付実績（平成29年3月31日現在）

コンパスナビ基金　寄附実績	
法人企業　様	2,720,000円
個人　様	1,072,627円
KDDIキボウノカケハシ	298,910円
合計	4,091,537円

協賛法人企業　様

株式会社キユーソー流通システム
株式会社鳥取県倉吉自動車学校
NPO法人地域教育ネット
KDDI株式会社

Copyright (C) 2015 一般社団法人青少年自助自立支援機構 All Rights Reserved.

4. 2017年度コンパスナビ運転免許取得助成制度　実績

活動概要
対象人数：28名（東京都2人、埼玉県17人、千葉県4人、神奈川県1人、茨城県4人）

助成対象：関東一都六県の児童養護施設、里親、ファミリーホーム、自立援助ホームなどで暮らす児童で、2018年３月に施設を退所した児童。

【今年寄せられた感想文】

A.O 女性

入校日	卒業日
30 年 2 月 10 日	30 年 2 月 23 日
合宿教習所：白根中央自動車学校	県名：埼玉県

最初は、運転出来るかすごく心配でなかなかうまくいかなかったらどうしよう、そんな気持ちでいっぱいでした。
けど、合宿免許で色んな県のところから人が来ていて、みんな失敗談やアドバイスのだしあいなどして、心の支えになったし、地元ならではのおもしろい話などしてすごく楽しんで免許がとれました。
厳しい教官もいれば、おもしろくて楽しくしゃべれる教官もいました。
何も怖いことは考えずに、ちょっとプチ旅行に行ったみたいに考えると楽しく感じるかもしれません。
何もわからなくても、教官が同じ部屋の子が、仲良くなった子が教えてくれるので、安心していって大丈夫だと思います。

D.N 男性

入校日	卒業日
30 年 2 月 3 日	30 年 3 月 9 日
合宿教習所：さくら那須モータースクール	県名：栃木

このたびは、合宿免許に参加させていただいて、おかげ様で免許を取ることが出来ました。ありがとうございます。
私は、長いあいだ養護施設で育ってきました。その中で今回はじめての試みで自分も学園の先生も戸惑う中、丁寧におしえていただき
とても感謝しております。
合宿免許では、4人部屋で最初はとても不安でしたが徐々に日が経つにつれて仲よくなりとてもよい合宿生活を送ることが出来て楽しかったです。
いままで、長いあいだ学園で生活をしてきましたが、明日から社会人となり学園を出ての生活になることにとても不安を感じておりますが学園の先生方および自分をささえてくださった大人の方々に教わってきたことを思い出して立派な社会人になれるようにがんばっていきたいと思います。
最後になりますが今回の件ではたいへんお世話になりました。お体に気をつけて元気張ってください。

Copyright (C) 2015 一般社団法人青少年自助自立支援機構 All Rights Reserved.

5．よしもと笑いコミュニケーション講座

活動概要
よしもとクリエイティブエージェンシーの芸人「オオカミ少年」を中心としたお笑いを通したコミュニケーション講座。
施設にいる小さな園児から高校生まで、全員が一緒になってお腹の底からから大笑いします。
オオカミ少年のリーダー片岡氏は、青山学院大学卒で、慶応大学大学院システム・デザインマネジメント研究科ではコミュニケーションを学んでおり、人とのコミュニケーションのとり方をお笑いにいかしています。

活動実績
2017年6月　調布学園（東京都　児童養護施設）
2017年12月　調布学園（東京都　児童養護施設）
2018年3月　雀幸園（埼玉県　児童養護施設）

オオカミ少年のお二人（左が片岡氏）　調布学園

オオカミ少年と清水バージョン　かがくと森田くん　調布学園

オオカミ少年と清水バージョン　かがくと森田くん　雀幸園

Copyright (C) 2015 一般社団法人青少年自助自立支援機構 All Rights Reserved.

1．埼玉県「未来へのスタート応援事業」 未来へのスタート応援事業

2018年3月、埼玉県より「未来へのスタート応援事業」を受託し、4月よりスタートしております。

今年度、コンパスナビでは埼玉県「未来へのスタート応援事業」を受託させていただき、埼玉県の児童養護施設、自立援助ホーム、里親、ファミリーホーム、自立支援施設に入所中の児童、及び退所した青少年のフォローを担わせていただくこととなりました。これまでの免許等の物的な支援にとどまらず、メンタルを含めた児童の真の自立を支えるための支援を目指し活動を推進してまいります。

この事業は、一般社団法人青少年自助自立支援機構（コンパスナビ）と、親会社である株式会社インター・アート・コミッティーズ（IAC）、グループ会社の株式会社コンパスキャリアとの共同事業として実施いたします。IACは住居支援、コンパスキャリアは就労支援を担当し、コンパスナビでは自立支援やセミナーなどを開催いたします。

【活動内容】

1．就労支援
2．住居支援
3．自立支援・・・各種セミナー等の開催
4．児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業における支援契約
5．運転免許取得支援（主に退所者中心）

【主なセミナー内容】

〈よしもとお笑いコミュニケーション講座〉
よしもと芸人のオオカミ少年が中心となって、子どもたちと笑いを通したコミュニケーションをしっかりとります。笑いの力を子どもたちのメンタルケアに活かすことができます。

〈簡単クッキング〉
スーパー家政婦で有名な「タスカジ」所属の中村裕子さんが、鍋ひとつとコンロ、電子レンジだけで作れる、簡単だけどしっかりした料理を、子どもたち、職員の皆さんに伝授します。終了後、作った料理を食べながらユースの皆さんとの懇談会を開催します。

〈お金の管理セミナー〉
東京スター銀行が行なう、中高生向けのマネー管理術！お金の専門家が、ゲームなどを通して分かりやすく子どもたちに伝えます。職員の皆さんもぜひご参加ください。終了後ユースとの皆さんとのお茶会を開催します。

〈アサーティブトレーニング教室〉
多くの高校生は、他人とコミュニケーションを取るのが苦手です。でも実はこんな簡単なことでコミュニケーションってできるんだということがまさに実感できるセミナーです。マナーサポート協会副理事長の岸田輝美氏が、優しく、そして分かりやすくマナーについて導いてくれます。終了後ユースとの皆さんとのお茶会を開催します。

〈合同企業説明会〉
企業のブースを子どもたちが回って、詳しい話を直接聞くことができたり、働くことについてのセミナーを開催します。
（2018年7月15日　埼玉会館にて実施）

〈ユースとのお茶会〉
全ての施設を対象に、ユースとの直接の懇談会を開催します。途中、お昼ご飯を一緒に食べながら、疑問や、社会に出てからの体験談などを直接聞くことができます。

〈施設職員向けセミナー〉
職員向けの料理教室、アンガーマネジメント、講演会などを開催します。

Copyright (C) 2015 一般社団法人青少年自助自立支援機構 All Rights Reserved.

つなげる支援、ユースたちとの連動　－waccaプロジェクト－

今年度のコンパスナビの活動の柱の一つに、ユースによる入所児童のメンタルケアがあります。親などからの虐待等の経験により、心に深い傷を負った児童を理解し、彼らの疑問に対し経験を元に伝えられるのは、同じ境遇を経験したユースがメンターとして最も適しているのではと考えたからです。

ケアの専門家ではないため、知識としては乏しいものがあるかもしれません。しかし、子どもたちの心に最も寄り添い、子どもたちの心の叫びを聞き、それに対して専門家から見たら正解ではないかもしれないけれど、何かしらの答えをしっかりと伝えられる存在だと私たちは考えています。

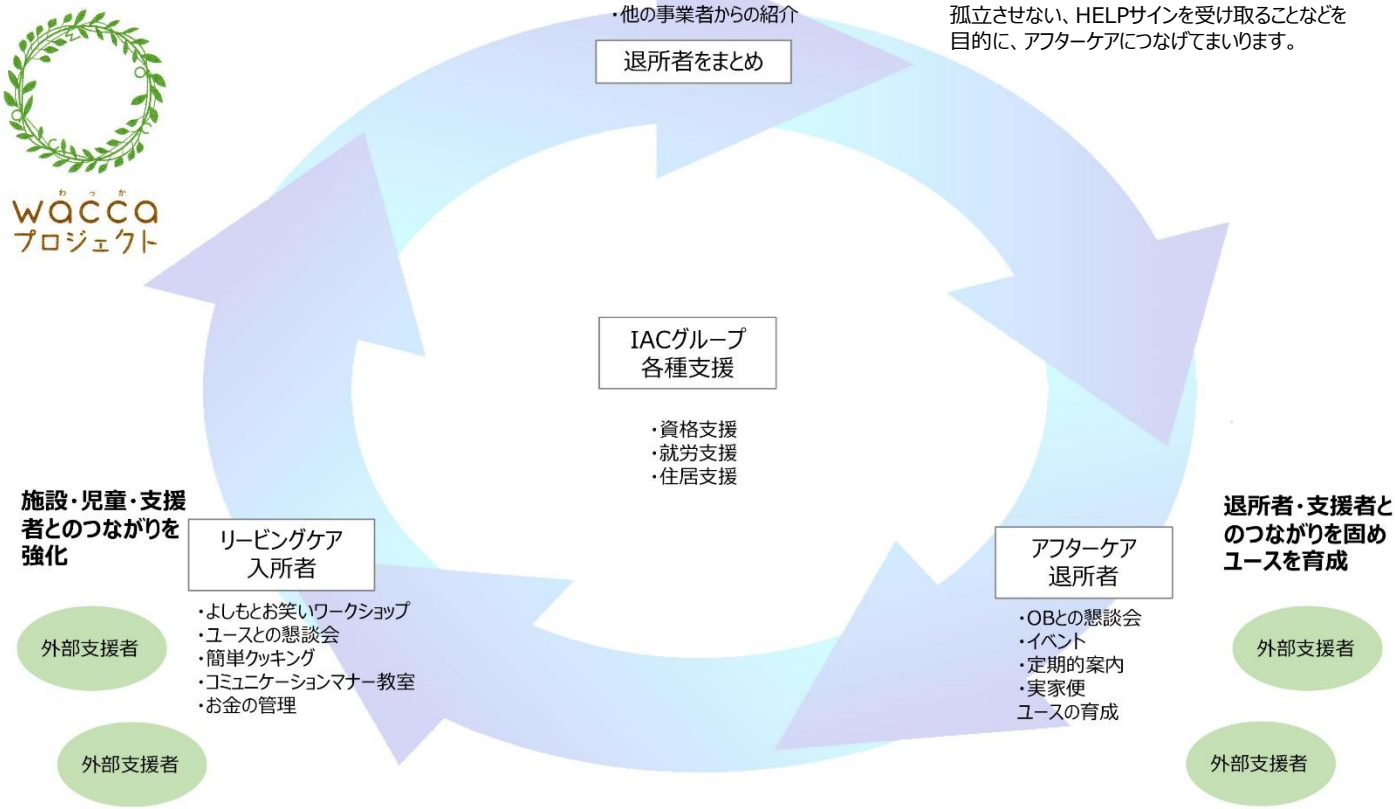
実はこれは、ユースにとってのケアでもあります。彼らの中には社会的に不安定な中で生活をしていて、精神的、物的なケアが必要な人もまだ多くいます。しかし、どうにかしなければいけない、何かやらなければ、という気持ちに動かされながら、こうした活動を続けることで、孤立から抜け出し、生きる目的を見出せ、自身を支えている側面もあります。

コンパスナビでは、ユースの活動を支えることが、アフターケアに、そしてリービングケアにもつながり、児童の真の自立を支えるのにあたり非常に重要であると考え、入所児童のケアを彼らとともに活動することにしました。支援を受けた側が、将来支援する側に回る。こうした支援のサイクルをユースの仲間が「waccaプロジェクト」と命名してくれました。まずは埼玉県でこの活動をしっかりと行ない、ゆくゆくは全国に広げていきたいと考えています。

そこで、既に退所している施設のOBにも、ぜひこの「waccaプロジェクト」に参加していただきたいと考えています。ユースの仲間たちは、社会で頑張っている出身者の相談相手にもなります。「妙な仲間」や「怪しい先輩」に呼び寄せられる前に、ぜひまずはユースとして、そして次にコンパスナビのスタッフとして（ボランティアではなくアルバイト代や交通費をお支払いします）、一緒に施設に向けた活動をして欲しいと願っています。

waccaプロジェクト　イメージ

一つひとつの支援が独立したものではなく、全てがつながり、
子どもたちに向かう流れを作る。



Copyright (C) 2015 一般社団法人青少年自助自立支援機構 All Rights Reserved.

2018年度のご支援のお願い

2017年度は、コンパスナビ運転免許取得助成制度を通じ、32名の児童養護施設出身の児童が合宿免許を利用しました。
2018年度は退所した児童の就労支援をする際に、運転免許証取得助成を行ないます。

今年度も、皆様の変わらぬご支援を引き続きたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

【支援の現場から】

〈住居支援〉
2018年4月2日、埼玉県「未来へのスタート応援事業」を受託した早々のこの日、埼玉県の児童養護施設より、施設を4月に退所する児童（男）の住居支援の相談がありました。保証人、親権者の同意書が難しいとのことで、詳しく話をうかがうところから支援が始まりました。
3部屋下見をして、一番最後の物件が日当たりも立地もとても良く、本人もすごく気に入り契約の運びになりましたが、契約においていろいろと乗り越えなければならないことが発覚。
でも、本人も頑張ってそれを克服し、無事に契約が成立に至りました。

〈就労支援〉
5月22日、埼玉県内の児童相談所から相談の連絡が入りました。高校二年生の里子さん（男）が18歳で里親を出るにあたり、まだ働くことが充分に理解ができずに、里親さんとしては心配なので今から働くことに対して自覚を持たせたいとのこと。
社会に出ることはどういうことなのかを理解をしてもらう上で、里親出身で、現在会社員として頑張っているユース（P５参照）の男性と会って話してもらうことになりました。
施設や里親の児童は、コミュニケーションが苦手とよく言われていますが、高校生であれば知らない人と話すのが苦手なのは当たり前のこと。少しずついろいろな人と話す体験を積むことにより、視野も開けていけるのではと考えています。
その後ユースの先輩と
児童相談所で2時間もたくさん話をしました。最初は下を向いて顔を見られなかったのですが、徐々に顔を上げ始め、最後までしっかりと前を見て話すことができました。これから時間をかけて、働くことを一緒に考え、より自分にあった職業と出会えるように、寄り添っていきたいと考えています。

毎週のように、いろいろな相談が事務局に来ています。今年度は、児童養護施設、自立援助ホーム、里親さんとの支援を中心に行って参ります。

運転免許も、就労も、住居も、コンパスナビ！

Copyright (C) 2015 一般社団法人青少年自助自立支援機構 All Rights Reserved.

一般社団法人　青少年自助自立支援機構

330-0062　埼玉県さいたま市浦和区仲町1-12-1 カタヤマビル1F・8F
TEL 048-815-4111　FAX 048-815-4112
Email：contact@compass-navi.or.jp

Copyright (C) 2015 一般社団法人青少年自助自立支援機構 All Rights Reserved.